

錦が丘の里山だより

ネットワークを掘げよう 一歩前へ

No.5

「錦が丘の里山だより」編集室

横浜市港北区錦が丘15-11 早起き鳥工房 植村允勝

2015年10月7日 Fax 045-421-8263 satoyamanews@gmail.com

このミニコミ紙がなぜ「里山だより」なのか

都市化する錦が丘に未来はあるか

錦が丘では緑豊かな環境のもと、人々のなごやかな暮らしが続いてきました。しかし近年、宅地のミニ開発による細分化が進み、地域から隔離された集合住宅が増えて、錦が丘の良さが失われつつあります。このように都市化してゆく街に一抹の不安を感じざるを得ません。自然環境と向き合う生活、隣人とのかかわりについて、考え直してみてもうどうでしょう。そこで、都会生活の対極として里山暮らしをイメージしていろいろな話題提供ができればとの思いから、このミニコミ紙を「錦が丘の里山だより」としました。

錦が丘の暮らしと里山の暮らし

人見さんは、錦が丘と広島県の神石高原町にお住まいをお持ちで、錦が丘と里山の暮らしをともに体験しておられます。人見修さんは、「錦が丘の街路樹継承宣言」を起草され、錦が丘・緑豊かな街並みを創る会の発足とその後の活動に多大な尽力をされました。このたびは、人見さんの里山暮らしを訪ねました。

中国山地の天空の里

人見さんのお住まいは、標高500mほどの山が幾重にも連なった高原地帯の一角で、新幹線の福山駅から北へ車で1時間半の神石高原町小野にあります。ここは人呼んで「天空の里」。明治20年頃建てられた由緒ある屋敷からは、畑と水田が見渡せます。屋敷の北側には林があり、屋敷の周囲には柿、栗などの果樹が植えられ、季節の野菜のための畑もあります。



人見さんにお話を
うかがいました

自然の中の暮らし、地域の人々との繋がり

どんな生活を送っておいでになりますか？

小高く明るい天空の里・小野は、きれいな水と空気のおかげでおいしい作物ができます。4年前から米作りをしています。自家消費以外のお米を都会の人に直接お売りすることで、小野の小さな田んぼを守りたいと思っています。今年はこだわって、田植え前に苗を消毒した以外は、完全無農薬・完全有機栽培のお米を作りました。草が生えましたが、気持ちのいいお米ができています。気の合うベテランの若手(50歳)と組んでいますが、草や落葉などを1年間集めたものを田んぼに入れて地力を高めることを基本方針にしています。

野菜作りは、春にキュウリ、ナス、トマト、ピーマン、スイカ、カボチャ、秋にハクサイ、ダイコン、冬にタマネギなどを、また、キャベツ、ニンジン、ジャガイモ、ホウレンソウなどは年に2回以上、植えつけや種まきをします。これも堆肥による土づくりが基本です。山菜・果樹は、春にワラビ、ゼンマイ、タラノメ、タケノコ、ツクシ、秋はキノコ、クリ、イチジク、カキ、キウイ、ギンナンなどを取ります。おいしい神石牛や神石ポーク、地酒の神雷も手に入ります。

錦が丘での生活と違うことは何ですか？

第1に、食べ物がおいしいこと。自分で作ったお米や野菜は、作る過程を知っているので安心でき、我が身が自然の循環の中に在ることを実感できます。

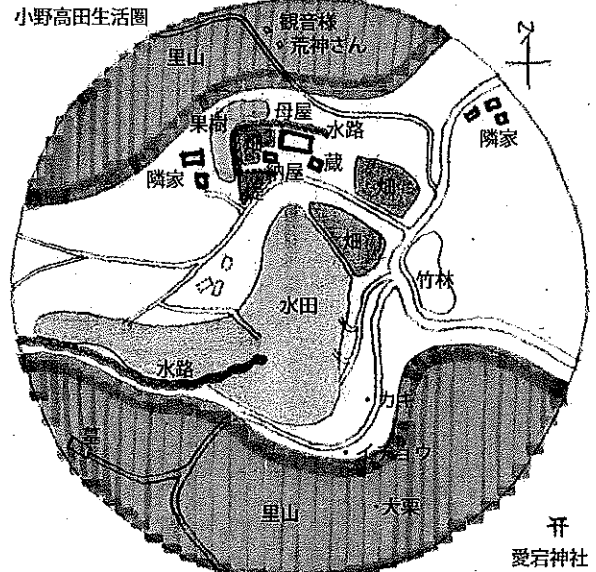
第2に、生ごみが無いこと。残飯は池の鯉の餌や堆肥になります。紙類などは燃やすので普通ごみもほとんど出しません。

第3に、人間と他の生き物たちとのそれぞれの居場所の環境を整える仕事が多いこと。草刈りや草取りなどを頻繁にして、動物がむやみに田畑や屋敷に入らないようにする作業です。晴れたらほとんど屋外作業に明け暮れるので、おかげでテニスやジョギングをしなくても体がスリムになりました。

里山の暮らしのすばらしさは何ですか？

第1に、人と自然がつながる心の安定感です。里山に囲まれた水田を中心とする生活空間はまるで小宇宙のようです。周りをきれいにした結果出る草や落葉を堆肥化して作物を作るとか、その年の天候に合わせて田んぼの日々の水管理をすとか、草刈りをするからこそはえてくる山菜を食すとか、人が作用する自然の循環があります。

第2に、人と人がつながる心の安定感です。田舎は住民みんなで協力し合おうという暗黙の了解があります。例えば、田んぼの水路はつながっているのです、引水にしても出水にしても隣同士を気遣います。また、町道の草刈りは年4回、住民のボランティアで行い、毎回、小野住民150人の6分の1にあたる25名前後（草刈りができる20～80代の大半）が参加します。小野は錦が丘のように便利ではありませんが、それほど不便さを感じないのは、自然や人のつながりが自立的な生活につながっているからだと思います。



里山掲示板

第23回 梢展

会期 11月30日(月)～12月6日(日)
10:30～18:00 最終日16:00まで
会場 サブウェイギャラリーM
みなとみらい駅
クイーンズスクエア側改札口より徒歩1分

錦が丘緑の会 高橋英夫さんが鳥海山を描いた水彩画を出展されます。

第71回 平成27年 洋画 日本画 彫刻 立体 写真

2015

ハマ展

会期 11月4日(水)～11月15日(日) (10:00～18:00、最終日14:00)
会場 横浜市民ギャラリー (入場無料) 伊勢山皇大神宮前に移転しました

錦が丘桜木坂の「桜仙居」(八重桜の普賢象で知られるアトリエ)
日本画家仙波存乃恵さんがハマ展に出展されます。

ギャラリー&スペース弥平からのお知らせ クラシックヨコハマ アットホームコレクション

「第69回全日本学生音楽コンクール全国大会in横浜」の関連事業として毎年スペースでサロンコンサートが開催されています。

日時: 2015年12月6日(日)開演15:15

出演: 山影 頼楓 (バイオリン 2014年全国大会中学校の部1位)

料金: 2,000円 問合せ: 横浜音楽協会(事務局: ハタ楽器 / 電話: 045-434-1100)

クラシックヨコハマホームページ <http://yokohama.mainichi-classic.jp/index.shtml>

毎年この時期、若く才能に溢れた演奏に住宅街の真ん中で触れることができるのがとても楽しみです。
演奏者の息遣いまで直接感じることのできる小さいスペースならではの楽しみです。

ギャラリー&スペース弥平は
篠原北1-5-5にあります。



早起き鳥記者のコメント

古今東西を問わず都会の生活に疲れた人々は田園に帰ろうとします。昭和の初めに錦が丘が開発されたときは、ここ錦が丘が田園だったのです。

人見修さん連絡先: 〒720-1901 広島県神石高原町小野 TEL/FAX 050-7540-9411 e-mail h-osamu@blue.plala.or.jp

(完全無農薬・完全有機栽培のお米を人見さんから購入することもできるそうです。)

ご意見などをお願いします

「里山だより」編集室から

- 2015年から2016年まで不定期に発行します。 ○印刷費用は、「錦が丘里山基金」によります。
- 配布先は、錦が丘町内会の会員です。 ○ご意見や情報提供・投稿、「錦が丘里山基金」へのカンパを歓迎します。
- 企画や取材記録を次のブログに載せています。「錦が丘の里山だよりの日記」http://d.hatena.ne.jp/early_bird68+satoyamanews/
- 編集室への連絡は、上記の fax または satoyamanews@gmail.com をお願いします。